

## 「平成28年度施策・事業評価(平成27年度分)」推進委員会委員評価コメント一覧

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
基本方針1 「参加のきっかけづくり」					
施策1 多様なメディアによる情報提供①					
		【1-1-1】 市が発行している各種刊行物による情報提供	① 文化芸術関連の情報発信 〈実施プロ該当〉	告知を積極的に行うようになってきているようで良いと思う。これからは、メディアの使い分けや連携を総合的に考えることが大切だと思う。 だれかトータルでPR戦略を考えられる人材、セクションがあるとういのではないだろうか。  「文化芸術関連の情報発信」については、現状には満足又は高い評価である。しかし、“アートミーア”は小学生を対象としおり、校内での連絡に工夫があれば良いと考えている。  「施設における掲示を検討」については、現状には満足又は高い評価である。	① 「対話による美術鑑賞」事業に、共同通信社の取材が入って多くの新聞に掲載され、情報が全国に広がったことは評価できるが、市内への積極的な周知も必要である。  また、ICTを積極的に活用し、情報を発信することにより、市HP及び市フェイスブックに多くのアクセスがあったことは評価できるので、さらに一層の地域メディアを活用した情報提供をしていくとともに、人から伝え聞くロコミ等も情報提供の方法として検討する必要がある。  今後は、イベントの目的や対象によって情報発信の媒体を変えたり、情報を発信するタイミングを検討したりするなど、効果的に情報を発信していく方策を検討していく必要があり、その際、誰が発信していくのかなど、アウトソーシングについても考える必要がある。
		【1-1-2】 公共機関等の施設における掲示による情報提供	① 施設における掲示を検討 〈実施プロ該当〉	「ICT活用における文化芸術関連情報について検討」については、他の通知に埋もれる感があったとしても、HPの“トピックス”イベント”に通知することが正しいと思う。	
		【1-1-3】 ホームページ等のICT活用による情報提供	① ICT活用における文化芸術関連情報について検討 〈実施プロ該当〉		

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
		【1-1-4】 その他地域メディアを活用した情報提供	① その他情報提供について検討		
<b>施策2 幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実②</b>					
		【1-2-1】 年代ごとの文化芸術に関するニーズ把握	① 子供のニーズを把握 ② 成人のニーズを把握 ③ 高齢者のニーズを把握 ④ 外国籍市民及び障害者のニーズを把握	こもれびホールの地理的な不便さに対する対応策をトライして欲しい。例えば駅からの臨時バスや公演終了後のバスなど。  市民まつり、市民文化祭どちらもそれなりの動員ができて、多くの市民の声を活かす場になっていると思う。現在が悪いという事ではないが、いろいろの視点を持った市民や団体、企業の意見を聞いてさらにこれから西東京市の誇りとなっていけるようなものになってほしい。検討委員会や市民ワークショップのようなことをやったらどうだろうか？  合築複合化についての議論が足りなかった。それぞれの立場が自分の意見を出すばかりで新たな方向を会合から生み出すことができなかった。 賛成反対とか〇〇を守れというような事になる前に、どんなものが必要なのかということを検討することが必要。その過程がなかったので混乱したと思う。 コンサルには市民や行政の考えをうまく整理したりまとめる役割を担っていただきたい。	② 幅広い年齢層のニーズを把握し、そのニーズに沿った事業を実施することも大切ではあるが、文化芸術活動団体のニーズについては、ヒアリングをしてニーズを的確に把握することが効果的である。  また、ニーズの把握からは「対話による美術鑑賞」事業のような特色のある事業は出てこないの、行政が長期的なビジョンを持って魅力のある事業を積極的に推進することも必要である。
		【1-2-2】 市民ニーズに基づく事業の充実	① 保谷こもれびホール事業 〈実施プロ該当〉  ② 市民又は活動団体による事業展開の調査研究  ③ 行政による事業 〈実施プロ該当〉	市民文化祭は規模、期間、会場を縮小し、子供の施策に力を入れる必要があるのでは。  外国籍市民について、高齢者同様に孤立させないことが重要であり、また活発な活動は市にとっても喜ばしいことである。そのため、とりわけ日本芸能のレクチャーをボランティア通訳付で行った方がよい。	西東京市民会館については、耐震補強工事が必要であるという診断結果が出ている以上、3館合築複合化に向けた検討と並行して耐震化についても検討していくべきである。  公民館・図書館については、事業を効果的に推進するためには、面積を拡充する必要があり、そのことにより、地域・行政資料室の機能が充実することが望ましい。

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査  
1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
		【1-2-3】 市民ニーズに基 づく施設の充実	① 西東京市民会館 のあり方につい て検討		
	② 保谷こもれび ホール施設の改 修				
	③ 公共施設の充実				
	④ 民間施設につい て調査				

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査  
1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
<b>施策3 子供達の参加の機会の充実③</b>					
		【1-3-1】 子供向け文化芸術の鑑賞機会や体験機会の充実	<p>① 保谷こもれびホール事業</p> <p>② 市民又は活動団体による事業展開の調査研究</p> <p>③ 行政による事業 (実施プロ該当)</p>	<p>優良な子供向け事業活動を実施する市民文化団体や青少年が構成メンバーである市民文化団体との共催事業を推進した。</p> <p>「行政による事業」については、現状には満足又は高い評価である。しかし(当該以外の)より他の予算を削る工夫が必要だ。</p> <p>「その他学芸的行事の実施」については、例えば、週1回で良いが、小学校の夕方参加したい小学生だけを集め、その地区の中学校の例えばブラスバンドの担当する先生がバンドの練習するのはいかがか。そうすれば、その小学生が中学へ進級し、その他の学生に教えることができるし、よりバンドの洗礼されたものになる。予算もほぼ要らない。</p> <p>子ども関連事業のニーズの把握を前提としながらも運営面での経済的負担を親が背負う実情に鑑み、市又は指定管理者において可能な限りの便宜・支援を図る方向で努力すべきではなからうか。その観点では成人対象の事業とは区別するようにはどうか。</p>	<p>③ 子ども向けに様々な事業を実施していることは評価できるが、どこで何を行っているかという情報を市民が共有していくことも必要である。</p> <p>「対話による美術鑑賞」事業は、市の計画に基づいた特色ある事業なので、引き続き推進すべきであり、小学校での定着及び充実を図るためには、ボランティアの数を増やし、質を維持・向上させることが大切である。</p> <p>また、多摩六都フェア「映画制作ワークショップ」を実施し、1年間で映画を完成させ上映発表会を開催したことは評価できる。今後もこのような特色ある事業を積極的に推進し、西東京市のカラーを打ち出していく必要がある。</p> <p>学校に不特定多数の人を集めるのは難しいとは思いますが、学校に老人ホームの利用者を招待したり、子どもと大人が交流できる文化芸術事業を実施したりすることにより、子どもの参加の機会の充実を図る必要がある。</p>
		【1-3-2】 学校教育における文化芸術に関する取組の充実	<p>① 校内学芸的行事</p> <p>② その他学芸的行事の実施 (実施プロ該当)</p>		

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査  
1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント															
<b>施策4 個人及び団体活動のきっかけづくり④</b>																				
④																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>① 保谷こもれば ホール事業 〈実施プロ該当〉</p> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>「保谷こもればホール事業」については、もっとワーク ショップをやるべきで、まだ足りない。また、そういったイベ ントは週末等により開催して欲しい。WSは、成人のニーズ の受け皿になると考えている。もっと工夫して多様な芸術 分野の専門家を迎えるようにしてほしい。またWSは、しっ かり料金も徴収した方が良い。</p> </td> <td style="width: 70%; vertical-align: top;"> <p>④ 保谷こもればホール事業に おいて、様々な参加型イベ ントやワークショップを実施し ていることは評価できるので、 引き続き満足度の高いワーク ショップを実施していく必要が ある。</p> <p>また、多摩六都フェア「映画 制作ワークショップ」を実施 し、1年間で映画を完成させ上 映発表会を開催したことは評 価できる。今後もこのような特 色ある事業を積極的に推進 し、西東京市のカラーを打ち 出していく必要がある。</p> <p>団体活動のきっかけづく りは、協働コミュニティ課の市民 協働推進センターゆめこらぼ と連携して進めていくべきで あり、文化芸術活動をしてい る団体と団体とのコラボレー ションも積極的に推進してい くべきである。</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>② 市民又は活動団 体による事業展 開の調査研究</p> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>「西東京市民まつり」については一定の評価ができる。</p> <p>図書館開館40周年記念については、テーマによっては当 市民に関わる内容に限定せず幅広く設定し、全都的にも 全国的に発信できる内容であったため、大変好評で当市 の文化芸術の発信力は大きかったと思われる。周年事業 としては、4事業を主催したがこれだけ多くの発信力を持 つ内容ならば、今後は毎年1事業ずつでも継続して実施し てはどうか。</p> </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>③ 行政による事業 〈実施プロ該当〉</p> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>【1-4-1】 参加型イベント や入門講座の充 実</p> </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>① 保谷こもれば ホール事業</p> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>② 市民又は活動団 体による事業展 開の調査研究</p> </td> <td style="width: 70%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>③ 西東京市民文化 祭 〈実施プロ該当〉</p> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>③ 行政による事業 〈実施プロ該当〉</p> </td> <td style="width: 70%;"></td> </tr> </table>						<p>① 保谷こもれば ホール事業 〈実施プロ該当〉</p>	<p>「保谷こもればホール事業」については、もっとワーク ショップをやるべきで、まだ足りない。また、そういったイベ ントは週末等により開催して欲しい。WSは、成人のニーズ の受け皿になると考えている。もっと工夫して多様な芸術 分野の専門家を迎えるようにしてほしい。またWSは、しっ かり料金も徴収した方が良い。</p>	<p>④ 保谷こもればホール事業に おいて、様々な参加型イベ ントやワークショップを実施し ていることは評価できるので、 引き続き満足度の高いワーク ショップを実施していく必要が ある。</p> <p>また、多摩六都フェア「映画 制作ワークショップ」を実施 し、1年間で映画を完成させ上 映発表会を開催したことは評 価できる。今後もこのような特 色ある事業を積極的に推進 し、西東京市のカラーを打ち 出していく必要がある。</p> <p>団体活動のきっかけづく りは、協働コミュニティ課の市民 協働推進センターゆめこらぼ と連携して進めていくべきで あり、文化芸術活動をしてい る団体と団体とのコラボレー ションも積極的に推進してい くべきである。</p>	<p>② 市民又は活動団 体による事業展 開の調査研究</p>	<p>「西東京市民まつり」については一定の評価ができる。</p> <p>図書館開館40周年記念については、テーマによっては当 市民に関わる内容に限定せず幅広く設定し、全都的にも 全国的に発信できる内容であったため、大変好評で当市 の文化芸術の発信力は大きかったと思われる。周年事業 としては、4事業を主催したがこれだけ多くの発信力を持 つ内容ならば、今後は毎年1事業ずつでも継続して実施し てはどうか。</p>		<p>③ 行政による事業 〈実施プロ該当〉</p>	<p>【1-4-1】 参加型イベント や入門講座の充 実</p>		<p>① 保谷こもれば ホール事業</p>	<p>② 市民又は活動団 体による事業展 開の調査研究</p>		<p>③ 西東京市民文化 祭 〈実施プロ該当〉</p>	<p>③ 行政による事業 〈実施プロ該当〉</p>	
<p>① 保谷こもれば ホール事業 〈実施プロ該当〉</p>	<p>「保谷こもればホール事業」については、もっとワーク ショップをやるべきで、まだ足りない。また、そういったイベ ントは週末等により開催して欲しい。WSは、成人のニーズ の受け皿になると考えている。もっと工夫して多様な芸術 分野の専門家を迎えるようにしてほしい。またWSは、しっ かり料金も徴収した方が良い。</p>	<p>④ 保谷こもればホール事業に おいて、様々な参加型イベ ントやワークショップを実施し ていることは評価できるので、 引き続き満足度の高いワーク ショップを実施していく必要が ある。</p> <p>また、多摩六都フェア「映画 制作ワークショップ」を実施 し、1年間で映画を完成させ上 映発表会を開催したことは評 価できる。今後もこのような特 色ある事業を積極的に推進 し、西東京市のカラーを打ち 出していく必要がある。</p> <p>団体活動のきっかけづく りは、協働コミュニティ課の市民 協働推進センターゆめこらぼ と連携して進めていくべきで あり、文化芸術活動をしてい る団体と団体とのコラボレー ションも積極的に推進してい くべきである。</p>																		
<p>② 市民又は活動団 体による事業展 開の調査研究</p>	<p>「西東京市民まつり」については一定の評価ができる。</p> <p>図書館開館40周年記念については、テーマによっては当 市民に関わる内容に限定せず幅広く設定し、全都的にも 全国的に発信できる内容であったため、大変好評で当市 の文化芸術の発信力は大きかったと思われる。周年事業 としては、4事業を主催したがこれだけ多くの発信力を持 つ内容ならば、今後は毎年1事業ずつでも継続して実施し てはどうか。</p>																			
<p>③ 行政による事業 〈実施プロ該当〉</p>	<p>【1-4-1】 参加型イベント や入門講座の充 実</p>																			
<p>① 保谷こもれば ホール事業</p>	<p>② 市民又は活動団 体による事業展 開の調査研究</p>																			
<p>③ 西東京市民文化 祭 〈実施プロ該当〉</p>	<p>③ 行政による事業 〈実施プロ該当〉</p>																			

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査  
1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
		【1-4-2】 活動団体のPR の充実	<p>④ 西東京市民まつり (実施プロ該当)</p> <p>⑤ 行政による事業</p>		
<b>施策5 様々な人が参加しやすい環境づくり⑤</b>					
		【1-5-1】 文化芸術関連情 報をバリアフリー 化して提供	<p>① 外国籍市民への 情報提供</p> <p>② 障害者への情報 提供</p> <p>③ 市民又は活動団 体による情報提 供の調査研究</p>		<p>⑤ くらしの情報(市報抜粋・多 言語版)の発行は、外国籍市 民が文化芸術関連情報を取 得するための有効な取組であ り、多文化共生社会の形成を 進める取組として評価でき る。</p> <p>また、外国籍市民や障害者 が参加できるイベントは充実 しているが、様々な人が参加 しやすい環境にするために は、施設のバリアフリー情報 を必要としている人に分かり やすく提供していく工夫が必 要である。</p>
		【1-5-2】 外国籍市民や障 害者が参加でき るイベントや講 座の充実	<p>① 外国籍市民が交 流できるイベント や事業の実施</p> <p>② 障害者が交流で きるイベントや事 業の実施</p>		
			<p>③ 市民又は活動団 体による事業展 開の調査研究</p>		

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
<b>基本方針2 「市民が活動しやすい環境づくり」</b>					
<b>施策1 活動者のニーズ把握⑥</b>					
		[2-1-1] 文化芸術活動者 に関するニーズ 把握	① 活動者のニーズ 把握及び情報提 供  <実施プロ該当>	<p>評価は“良”。しかし、よりもっと芸術家として成功した者に調査をしたらいかがか。例えば、西東京市出身、西東京市在住の芸術家により意見を聞く又はWS等の講師として呼ぶこともよろしいのではと考える。現状では、今施設利用者のみの対象であって、より成功した者からの意見がほしい。市なら把握してほしい。</p> <p>利用者以外の方々からの意見を集めるということについては？ 長期的な計画は？</p> <p>ホールなどの利用者懇談会はぜひ続けてほしい。市民会館では、毎年参加メンバーが増えているのはよい。今年も積極的に呼びかけてほしい。</p> <p>子ども関係の団体、文化芸術各ジャンルの主な団体に個別にアプローチし ニーズや意見を把握する。</p>	<p>⑥ 実際に利用した人以外からの情報をどう集めるかが課題であり、総合的な文化芸術情報サイトを立ち上げ、文化芸術活動を活性化するとともに、利用者以外の人からの意見を幅広く集める必要がある。</p> <p>一方、ニーズに左右されることなく、長期的な計画に基づいた市民が活動しやすい環境づくりに取り組んでいく必要もある。</p>
<b>施策2 文化芸術の情報拠点の明確化⑦</b>					
		[2-2-1] 情報拠点の明確化	① 公共機関及び ICT活用におけ る情報拠点を検 討	<p>市内各文化施設のイベント基本情報を「イベントカレンダー」という形で、こもればホール情報誌「イベントニュース」に掲載する、あるいは別刷りにして「イベントニュース」と同時に配布することを提案する。</p> <p>公民館だより、図書館だより等と競合するのではなく、「いつどこ何をやっているのか」という基本情報のみを総括的に一元化することで市民ニーズ(利便性)に答えたい。</p> <p>情報拠点の評価はやっていることはやっているといった感じである。しかしもっと工夫が必要で、市内のバー、喫茶店又は西武鉄道にもポスター等を貼る位の姿勢を出すべきである。イベントを減らしてでももっと市内広範囲で行うべきである。また、FBのイベントの招待をやるぐらいの積極性も欲しい。</p> <p>「情報拠点のPRと活用」については、評価“良”。</p> <p>情報拠点、「人」、などの委員会の意見については？ もっと外部の力を活かす、業者ではなく協働を。</p> <p>公民館はIC検討をしていないというコメントがあるが、ICTの活用は必要。</p> <p>こもればホールに情報コーナー利用の数字が出ているが、この数字でA評価で良いのか？</p> <p>図書館の「縁」はとても素晴らしいマルA評価だと思う。</p>	<p>⑦ 地域の文化芸術情報を、効果的につなぎ合わせることでできる文化芸術の情報拠点は必要であり、拠点となる総合的な文化芸術情報サイトを立ち上げ、効果的な情報を発信していくべきである。また、その際、発信する「人」が重要となってくるので、そのようなハブ的な人材を養成していく必要がある。</p> <p>また、図書館の市内情報の収集は大切な活動であり、それらの情報をICTを活用して積極的に発信していることは評価できるが、他の文化芸術情報サイトと連携していくべきである。</p>

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査  
1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
			<p>② 保谷こもれびホールにおける情報発信拠点を検討</p> <p>③ 図書館の地域資料の活用</p>		
		【2-2-2】 情報拠点のPR	<p>① 情報拠点のPRと活用 &lt;実施プロ該当&gt;</p>		
<b>施策3 文化芸術を発信する機会・環境の提供⑧</b>					
		【2-3-1】 活動場所の充実を図る	<p>① 練習場所の最適化を検討 &lt;実施プロ該当&gt;</p> <p>② 発表場所の最適化を検討 &lt;実施プロ該当&gt;</p> <p>③ ストリートパフォーマンスの検討</p>	<p>練習場所・発表場所については、小学生なら小学校で行うのが、子供の安全及び利便性を追及できる。そのことにより、文化芸術が好きな子供である特徴を作ることができ、勉強やスポーツができなくても、より尊重されると考える。</p> <p>出演者の年齢は問わず、もっと踏み込んで福祉施設でやるのも良い。</p> <p>職員のコーディネート向上やソフト面、近隣市区との連携はどうなっているのだろうか？ここにコメントせずにA評価は？</p> <p>ストリートパフォーマンス的なフラッシュモブがいこいの森公園やひばりが丘パルコ前で行われたが、個人的な力だったのか知られていないようだ。 市民まつり関連で駅周辺イベントは？ 市民まつりの臨時バスのコストは？ おでかけマップを作ったことについてのコメントはないのか？</p> <p>アウトリーチを求めている施設・学校などを調査。そのニーズを文化活動団体へフィードバックする。</p> <p>文化団体の活動場所として圧倒的に不足しているのは練習場所であり、特に大きな音を出す団体・メンバーの多い団体が本当に困っている。小中学校の講堂、体育館などの休日利用が考えられないか。 その際、市民の自由参観も考えられる。</p> <p>市民会館の建て替えによる練習場の新設に期待。</p>	<p>⑧ 市民にとって最適な活動機会の提供や環境づくりを検討する際には、ハード面だけではなく、職員のコーディネート能力の向上などソフト面の環境を整えることも大切である。</p> <p>ストリートパフォーマンスの検討については、担当課で積極的に取り組むべきであるが、ペディストリアンデッキの利用についての道路管理課の前向きな姿勢は評価できる。</p> <p>市民の活動場所の充実を図るには、スポーツ施設に限らず、あらゆる文化施設での相互利用など近隣市区との密接な連携が必要である。</p> <p>市民まつり開催時に、主要駅から会場へのシャトルバスを運行しているのですが、駅周辺でもイベントを行い、まち全体で盛り上げるべきである。</p>



■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
		【2-3-2】 利用しやすい施設 の提供	① 公共施設の利用 環境の整備  ② 交通機関等アクセ ス方法の検討		

基本方針3 「伝統文化等の継承」

施策1 文化財の保存・継承と活用⑨

	【3-1-1】 文化財の保存・ 継承	① 文化財の保存・ 継承 〈実施プロ該当〉	<p>アクセスを良くすると評価は”良”である。しかし、歴史に関係なくても週末に下野谷遺跡でWS程度のイベントを開催すべきで、より当該遺跡に足を運ぶ市民が増えるであろう。おもしろいイベントは浮かばないが例えば、ヨガ、絵画教室はどうであろうか。</p> <p>「文化財を活用したイベント等の実施」については、手探りの中と察するが評価は”良”と考える。</p> <p>下野谷遺跡の今後が見えてこないし、また現在やっているVTRのことなどは告知できているのだろうか？ 郷土資料室の来室者人数が年間で2,799人。週にすると50人程度の人数。これでA評価ですか？ 図書館の新聞折込電子化はとても良いと思う。資料の電子化で多くの人に活用できるようになっていく。 高齢者支援課のコメントが「計画に基づき実施」という事で、A評価？計画そのものの評価は？ 情報推進課の数字794人でA評価？</p>	<p>⑨ 下野谷遺跡を市の最重要文化財として今後どのように活かしていくかを、全市的に取り組むべきである。</p> <p>現在実施している、市内中学生を対象とした縄文遺跡を活かしたまちづくり提案ワークショップは良い取組として評価できるので、今後も、特に若年層の愛着形成につながるような施策を期待したい。</p> <p>文化財めぐり「西東京市の戦跡をめぐる」等の事業で地域・行政資料室所蔵の写真や資料の積極的な公開や、図書館所蔵資料のデジタル化は評価できる。</p>	
		① 郷土資料室の運 営			
		② 地域・行政資料 室の運営			

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査  
1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
		【3-1-2】 文化財の活用	③ 文化財を活用したイベント等の実施 〈実施プロ該当〉  ④ 刊行図書やマップ等で文化資源の情報を提供		
<b>施策2 地域の伝統文化についての検討⑩</b>					
		【3-2-1】 地域の伝統文化についての検討	① 地域の伝統文化の検討 〈実施プロ該当〉	手探りの中と察するが評価は”良”と考える。より縄文人が現代人より賢い、つまり当時の知恵を教えるWSの開催はどうであろうか。  伝統文化が何かという検討はされているのだろうか？	⑩ 伝統文化とは何かということをもっと検討すべきであり、伝統工芸にも目を向ける必要がある。  また、このまちの伝統文化とは何かを、関係者に取材することも必要である。
<b>基本方針4 「文化芸術を担う人づくり」</b>					
<b>施策1 文化芸術を支える人材の育成と仕組みづくり⑪</b>					
			① 文化ボランティアの育成	「文化ボランティアの育成」については、取り組みは素晴らしく”良い”評価である。将来的には対価を渡す、なんらかの納税額を減らす等のメリットを提示するのが良いと思う。  市民活動センターとの連携、コーディネーターの養成、文化芸術情報サイトはどうなっているのだろうか？ここにコメントなしでA評価？	⑪ 「対話による美術鑑賞」事業を小学校で定着させるためには、アートみーるは積極的に養成し、質量共に増やし、自主的な運営ができるように努めるべきである。

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
		【4-1-1】 文化ボランティアの育成	<p>〈実施プロ該当〉</p> <p>② 文化ボランティアの制度化</p>	文化ボランティアは、引き続き公募を望む。	<p>文化ボランティアの制度化を図るには、社会福祉協議会が運営している西東京市ボランティア・市民活動センターとの連携は不可欠であり、同センターのHPの文化芸術情報欄を活用していくべきである。</p> <p>企画・運営コーディネートの支援については、コーディネーター養成講習などを市内で実施し、市民が自主的に企画・運営した事業やイベントにおける課題について、職員が専門的なアドバイスを行えるようにしてほしいと思う。</p> <p>市民が自主的に企画・運営している文化芸術イベントへの職員による取材は素晴らしいので、今後も継続すべきであり、それらの情報を総合的な文化芸術情報サイトで発信できることが望ましい。</p>
		【4-1-2】 企画・運営コーディネートの支援	① 活動団体の自主企画や運営についてアドバイス		
<b>施策2 文化芸術を支える人材の活用<sup>⑫</sup></b>					
		【4-2-1】 地域の人材との連携による指導・支援の機会の創出	<p>① 文化ボランティアの活用</p> <p>〈実施プロ該当〉</p> <p>② 生涯学習人材情報提供事業の活用</p>	<p>「文化ボランティアの活用」については、育成に評価は「良い」。</p> <p>アートミーアさんは、皆さんとても丁寧に「対話による美術鑑賞」を実施してくださいました。ただ、小学校で実施するのはどうしても平日になってしまうので、ボランティアさんの人数増加はなかなか難しい点もあるのではないかと思います。今の人数で活動する中で、小学校全校実施が負担になり過ぎないか、少し心配です。</p> <p>文化ボランティアの皆さんの実践率をもっと上げたい(実践することで能力がアップする)。</p>	<p>⑫ 「対話による美術鑑賞」事業を小学校で定着させるためには、アートミーアさんは積極的に養成し、質量共に増やし、自主的な運営ができるように努めるべきである。</p> <p>文化ボランティアを活用して、文化芸術活動の機会をつくるためには、社会福祉協議会が運営している西東京市ボランティア・市民活動センターとの連携は不可欠であり、同センターのHPの文化芸術情報欄を活用していくべきである。</p>

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査  
1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
		【4-2-2】 活動団体との連携による活動機 会の創出	① 公民館登録団体 一覧の活用		文化ボランティアが自立した活動を継続的に行うための仕組みづくりに関しては、成功している事例を探して、それを西東京で応用していければ望ましい。その際、中高生のボランティアの活かし方を視野に入れる必要がある。
<b>施策3 青少年や高齢者の文化芸術活動の支援<sup>⑬</sup></b>					
		【4-3-1】 青少年の文化芸術活動の支援	① 青少年の文化芸術における自主企画事業の実施	高齢者ならではの文化活動(子どもたちや施設で)。Ex 読み聞かせ	⑬ 青少年が自主的に企画・運営する児童青少年課の事業や、高齢者の生きがいを持った暮らしを推進するための事業は評価できるので、行政が積極的に取り組んでいる事業をもっとアピールすべきである。
			② 下保谷児童センターの運営	特別なスキル(得意ジャンル)を持っている高齢者の調査	
		【4-3-2】 高齢者の文化芸術活動の支援	① 生きがい推進事業 ② 高齢者クラブ ③ 高齢者いきいきミニデイ事業		
<b>基本方針5 「交流による活動の拡大・活性化」</b>					
<b>施策1 活動団体の交流機会の創出<sup>⑭</sup></b>					
		【5-1-1】 イベント開催による交流機会の創出	① 活動者が交流できるイベントの実施	「活動者が意見交換できる場の提供」については、評価は“良”。しかし、よりもっとプロフェッショナルに調査をしたらいかがか。例えば、西東京市出身、西東京市在住の芸術家により意見を聞く又はWS等の講師として呼ぶこともよいのではと考える。現状では今施設利用者からの対象であって、より成功した者からの意見が欲しい。市なら把握してほしい。	⑭ 市民文化祭や市民まつりには毎年多くの市民が集まるが、時代に合わせて毎年見直しをする必要があり、何らかの指標を設定し、事業効果を図るべきである。
		【5-1-2】 活動情報の交換による交流機会の創出	① 活動者が意見交換できる場の提供 <実施プロ該当>	文化振興課関連のイベントは成功しているが、参加団体相互の交流はあまりなされていないと思う。  市民文化祭に参加していない団体への聞き取り調査が必要。	
<b>施策2 国際文化交流の促進<sup>⑮</sup></b>					

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査  
1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
		【5-2-1】 国際文化交流イ ベントの開催	① 外国籍市民が交 流できるイベント の実施		⑮ 国際文化交流を促進するた めには、ロータリークラブなど 民間とも積極的に交流すべき であり、今後は、オリンピック 絡みの政策などとある程度同 調して取り組んでいく必要が ある。
		【5-2-2】 多文化交流を支 援するスタッフ の育成	① 多文化交流支援 スタッフの育成		
<b>施策3 近隣市や姉妹都市・友好都市との交流促進⑯</b>					
		【5-3-1】 近隣自治体との 連携	① 近隣住民が交流 できるイベントの 実施  <実施プロ該当>		⑯ 映画制作ワークショップは、 面白い取組であり、多摩六都 フェア以外の事業でも北多摩 5市で連携する取組ができる と良い。  姉妹都市の下郷町から映画 監督を招き、映画上映会及び トークショーを実施したことも 評価できる。  多くの市民が地方都市とつ ながっている県人会などと、う まく連携していく必要がある。
			② 他自治体の施設 状況の調査		
		【5-3-2】 姉妹都市・友好 都市との連携	① 都市間交流がで きるイベントの実 施		
<b>施策4 市内関係機関等との連携⑰</b>					
		【5-4-1】 教育機関との連 携	① 市内大学との連 携の充実  ② 教育機関とのイ ベントの連携  <実施プロ該当>	こもれびホール指定管理者代表企業(JCD)が、市内の「文華女子中高校」学校事業の一環である校内ホールにおける芸術鑑賞会の出演者手配を請負った。(文化振興課からの情報提供により実施した)  「教育機関とのイベントの連携」については、評価”とても良い”レベルです。例えば、週1回で良いが、小学校の夕方参加したい小学生だけを集め、その地区の中学校の例えばブラスバンドの担当する先生がバンドの練習するのはいかがか。そうすれば、その小学生が中学へ進級し、その他の学生に教えることができるし、よりバンドの洗礼されたものになる。予算もほぼ要らない。  「市内事業者との連携の充実」については、評価”とても良い”レベルです。市内のバー、喫茶店又は西武鉄道にもポスター等を張る位の姿勢を出すべきである。イベントを減らしてでももっと市内広範囲で行うべきである。もちろん、発表の場も、公共にこだわらず、もっとまちに出て地元のバーや喫茶店で開催する等を導入すべき。	⑰ 市民まつりや市民文化祭 に、多くの学生が参加してい ることは評価できるが、市内 の大学及び近隣の大学との 連携をもっと図るべきである。

■基本方針5、施策18、推進する取組36、  
取組の内容72(うち実施58、検討13、調査  
1)

基本方針	施策	推進する取組	取組の内容	H28年度 推進委員評価コメント	(参考)H27年度 推進委員会 評価コメント
		【5-4-2】 市内事業者との 連携	① 市内事業者との 連携の充実 〈実施プロ該当〉		
<b>施策5 文化芸術分野の専門家との連携<sup>⑮</sup></b>					
		【5-5-1】 地元アーティスト との連携	① 地元アーティスト との連携の充実 〈実施プロ該当〉	とても良い事業である。西東京市出身、西東京市在住の 芸術家に大掛かりなコンサートにこだわらず、WSを開催 するのはどうか。例えば、“笛を吹いてみよう”“太鼓を叩 いてみよう”等各種(多国籍な)の笛を用意し又各種の(多 国籍な)太鼓を用意し講師よりレクチャー受ける等より多 様性や芸術の深さを感じることができるのではと考える。	⑮ 市内在住や出身など地元 アーティストの情報を積極的 に集め、地元アーティストと連 携した事業を推進していく必 要があり、そのためにも、最 新の情報が効果的に掲載さ れている情報サイトが必要で ある。